

仕事人秘録

煮崩れしにくく、モチモチとした食感が特徴のはるさめ「マロニー」などを製造するマロニー(大阪府吹田市)。社長の河内幸枝氏は、創業者の父の後を継ぎ、専業主婦から40歳で実業界に飛び込んだ。ユニークなテレビコマーシャル(CM)などで主婦感覚に根ざした才覚を発揮。世界展開をにらみ経営効率化にも取り組む。

マロニーは「鍋に入れてもおいしくいただけるはるさめ」と父、故・吉村義宗が開発に着手し、1964年に販売を開始した商品です。関西以西では、ダシを張った鍋に各人が好みの具材を入れていただきます。鍋の中で溶けて形がな

看板商品がトップ育てる ①

マロニー社長  
河内 幸枝氏



かわち・ゆきえ 1943年生まれ。昭和18年(1943年)福岡県飯塚市生まれ。京都女子大学中退。村田吉義氏(故人)が創業したマロニーに84年入社。取締役総務部長、専務を経て91年から現職。2010年経済産業省中小企業IT経営力大賞優秀賞。68歳。

主婦から体当たりの転身

67年に売上高が1億円を突破したころ、父はテレビCM放映に踏み切りまし

本でも知名度がぐんと上がりました。

「マロニーちゃん」です。おかげで東日

「一介の町工場のおっちゃんにしては、先見の明があったのではないかと思

た時は40歳。後継者と決まっていた夫が、父との意見の相違で退社したのが転機だった。

「戦後はカタカナの時代吸い込むと4〜5倍に膨れるので、食べ応えがあつて

幼いころから体が弱く、トーとしてきました。跡取り娘が歩んだ半生を振り返

煮崩れしない特性を消費者に知ってもらおうと

私が社長に就いて4年目の94年、中村玉緒さんを起用した大量のテレビCMを力的に通いきれずに中退し

経営・人事